



いの町長 始
塩田

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

都市と地方の格差が拡大する中、厳しい経済状況や目まぐるしい社会情勢の変化に伴い、本町の行政課題も変わってきており、皆様には、各種施策・事業に一方ならぬご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、3月に新宇治川放水路が完成、稼働し宇治川流域の慢性的な浸水被害が大幅に軽減されました。

吾北地区では旧小川中学校跡地に給食センターが完成し、吾北地区の幼稚園、小中学校に給食サービスを提供できるとなりました。

森林整備については、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業」で水資源の保全を図る一方で、「新生産システム事業」が本格稼働し、森林という地域資源の利活用が始まりました。

本川地区の町道瓶ヶ森線では、愛媛県西条市の呼びかけにより、いの町並びに久万高原町が協力し、500余名の参

加のもと「石鎚山系元気ウオーキング大会」が開催され、好評をいただきました。

仁淀病院については、病院の診療体制強化として小児科、皮膚科、泌尿器科等への医師の配置、来年度からの特定健診・特定保健指導の開始に伴う健診実施医療機関としての整備など、健康づくりに直結した医療健診体制を検討しております。

また施設の老朽化に対しては、新病院の設計の事業者選定を行い、平成22年度を目処に現在地での全面改築に向けて取組を進めています。

ほかにも、県内市町村に先駆けて、総合評価方式による入札の実施、町営バスについては、伊野地区において伊野循環線バスの実施、小野行きバスについては、現行の路線を存続させながら経費節減を目指した定時制デマンド式（予約制）乗合タクシー方式の試験運行を開始しました。

今年も町民の皆様への町に暮らして良かったと思えるまちづくりを目指して努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のますますのご健康とご多幸を祈念しまして、私からの新年のあいさつといたします。



いの町議会議長
土居 豊榮

新年おめでとうございます。皆様方には決意も新たに新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

昨年は、新しい県知事が選ばれ、高知の良さを見出し、活力と輝きで地方の格差是正に取り組み尾崎県政がスタートいたしました。

いの町では、新宇治川放水路の供用により、連年の家屋浸水や国道33号の被害が減少し、墓地公園の供用は、町民が望む安らぎの霊地として好評いただいております。

私どもが安全・快適な生活を送るための基盤である、これらの公共事業の完成は、担当者の強い使命感に裏打ちされた献身的な努力と、多くの地権者をはじめとする関係者の皆様のご理解とご協力による賜物と存じます。改めて、関係者の皆様方に、敬意を表し、深く感謝申し上げます。

本年には、仁淀病院改築の基本設計ができあがります。町民の生命を守るため、時代の要求に応じた療養型施設として生まれ変わるため、町長、院長の

「思い」へ、専門的な知識を持った大学教授や、多くの審議員の精査を加えた「新仁淀病院構想」が動いております。

今、私が真剣に取り組むべきことと考えるものに、山林資源の保全があります。橋本県政が行った人工林の再生と森林税の創設は、すばらしい偉業であると感謝しております。なぜなら、県土の悠久の発展を願い、県民が共に協力して、先人の意志を受け継ぎ、県土を未来へつなぐための事業であるからです。

いの町の北には林野が広がっており、仁淀川、吉野川の水涵養林もあります。「山」の重要性の浸透により、いの町の荒れた山林が生氣を吹き返しつつあります。人工林を再生する「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業」や災害から山野を守る「治山、治水工事」、国土を保全して産業構造を確立させる「緑のダム事業」は、重要施策として取り組み、継続しなければならぬことだと思っております。

塩田町政の仕上げの時期です。町民の願いがまちづくりに通じるよう、議会は町民とともに邁進してまいります。

結びに、夢の実現に向かって着実な歩みを記す一年でありますことを念じ、あわせて皆様方ますますのご健康とご多幸を心から祈念いたします。